



熊野町立熊野第一小学校
令和2年 6月 29日
校長 平岡 弘資

「ありがとう」の一言で、人は成長できる。

6月1日の学校再開からほぼ一月。子供たちの様子を見ると1週目、2週目あたりはやはり4月当初とは違う印象を受けました。長い休校明け、調子が出ないのは分かります。しかしだんだんと学校生活に慣れてきたようです。授業中や休憩時間などの様子からは子供たちの元気な様子が見えてきました。梅雨に入りました。じめじめとした日が続きます。天気の良い日は真夏のように。そうした中で、新型コロナウイルス感染対策を踏まえた新しい生活様式を意識しながら教育活動を進めていこうと思います。

さて、再開後のこの一ヶ月毎日学校の門で子供たちを出迎えています。3カ所の門をローテーションしています。朝の子供たちの様子からいろいろなことが感じとれます。元気よく挨拶してもらえればこちらも元気になるし、下を向いて元気がなければ何か気になることあるのかなあと心配になります。でもこの時間は私にとって大切に大好きな時間です。私がほっこりした話を二つ紹介。

金曜日の朝の正門。1年生の女の子が「明日は弟の誕生日なんですよ。」と嬉しそうに教えてくれました。「じゃ明日はケーキが食べられるかな？」と言うとにっこり笑って「はい!」。こちらまで嬉しくなりました。

もう一つも正門での話。4年生と1年生の姉妹がいつも仲良く登校してきます。門のところでお姉ちゃんが持ってあげていた水筒を妹に渡しながら「今日も頑張るんよ!」。妹「うん。頑張る。」「じゃね〜」それぞれの靴箱に向かう二人を見ながら心が熱くなりました。

最後にもう一つ朝の話を。西門で子供たちを出迎えていると女の子が元気よく「おはようございます。」私「おはようございます。良い挨拶だねー」と言うとなんか女の子が「ありがとうございます。」と応えてくれました。こちらがとてもすがすがしい気持ちになりました。その日は一日中「ありがとう」という言葉について考えていました。「ありがとう」の一言は「素直な心」があるから出てくるんですよね。「素直な心」は自分自身を見つめたり、振り返ったりすることから生まれてくるものだと思います。本年度熊野第一小の合い言葉は「今の自分から」です。自分の成長に気付く力を身に付け、自分をさらに成長させようというものです。その基盤となるものが「素直な心」だと思います。

今の自分をしっかりと見つめ、振り返ることで自分自身のことが理解できる。そうすると周りの人からやってもらったり、言われたりすることを素直に受け入れて自分自身を成長させることができる。それが「今の自分から」です。

結論は、周りからやってもらったり、言ってもらったりしたことに対して心の底から素直な気持ちで「ありがとう」と言えることができる人は、自分自身を成長させることができる人だということです。このことは、子供たちだけでなく、私たち大人も大切にしたいことです。

合い言葉は「今の自分から」！ 素直な気持ちで「ありがとう」！



<学校再開後の様子>



教室では、床にテープを貼り、机の間隔を1m以上にしています。



手洗い場やトイレの前には、足形やテープを貼り、密にならないようにしています。



大休憩の外遊びは、人数を3分の2に減らしています。



今年度は、8月7日まで授業を行う予定です。そこで、暑さ対策のため日課表を変更し、下校時刻を早めます。

○期間 7月20日(月)～8月7日(金)

○下校時刻 5校時の日 14:05
6校時の日 14:55



朝の会	8:15～	8:30
1校時	8:30～	9:15
2校時	9:20～	10:05
大休憩	10:05～	10:20
3校時	10:25～	11:10
4校時	11:15～	12:00
給食	12:00～	12:25
昼休憩	12:25～	12:45
掃除	12:50～	13:00
5校時	13:05～	13:50
6校時	13:55～	14:40
帰の会	14:40～	14:55